

言者口トの物 (前半) : ソドムの 代

:

明: 言者口トは神に うよう人々に忠言します。

目: [事イスラ ムの信条](#) [言者の物](#)

より: ア イシャ ステイシ

日 03 Feb 2014

集日 16 Jun 2014



神が 言者たちを各民族に遣わしたのは、唯一なる神のみを崇め、そこに何者をも べてはならないという同一の教えに基づいたものでした。そして最 に、神は 言者ムハンマドを全人 に して遣わしています。彼の携えた教えはそれ以前と同じものでしたが、彼はあらゆる 代 所、さらには 判の日まで 用されることの出来る、全人 への新たな法をもたらしたのです。クルア ンの 々な章句の 示には、 言者と追 者たちに起きた特定の出来事や に しての回答が多々ありました。クルア ンの中で られている物 は、教 として、また人 の 史的背景を提供するものとして、そして神の性 を示すものとして 能します。言者口トの物 は特に、21世 においても 性の高いものです。

世界中の多くの都市には、日中でさえ外を出 くのが危 な 所があります。それらの 所では 人が し、 人情 が盗まれ、麻 が蔓延しているのです。近年では欧米 国の高校生たちの大半が、既に麻 の使用者や 人らと何らかの形で遭遇しています。アルコールは家庭崩 家

ソドムの民は、羞 心を感じる事がなくなる程までに墮落を めました。彼らは公共の
であるかどうかを わず、不自然な性的行 に耽りました。彼らの にはサタンがおり、常
々そうであるよう、サタンは彼らの行 を 々しく えるよう仕向けました。ロトが彼らの
邪 な生き方を えるよう要求したとき、彼らはあたかも彼ら自身が正 の で、ロトが大罪
を犯している者であるかのように、彼を追放しようとしてしました。ソドムの民はロトに
こう言ったのです。 “

いい加 止めないなら、ル ト（ロト）よ、あなたは必ず追放されるでしょう。

”（クルア ン26:167）

ロトは怒りをあらわにし、彼とその家族をソドムの民の から救出してくれるよう、神
に呼びかけました。

一方、 のある 所では、 言者ロトの叔父にあたる 言者アブラハムが、3人の客人を迎えて
いました。その 大さで知られる 言者アブラハムは、仔牛を丸 きにして彼らをもてなし
ましたが、彼らは食べようとはしませんでした。それは非常に 例なことであるため、
彼はうろたえました。旅行者は空腹なのが常であり、これら3人がもてなしを拒んだこ
とは、 言者アブラハムを不安にさせました。客人たちは彼の不安な 子を て、それを解
消させようとしてしました。彼らはこう言ったのです。

“恐れることはない。”（クルア ン15:53）

彼の恐怖心は落ち着き、 言者アブラハムは客人たちが れた用件について ねました。彼
らはこう言いました。“わたしたちは罪深い民に遣わされた。”（クルア ン15:58）

ソドムの民は腐 した、 が容 されると信じた人々でした。残念ながら21世 における私た
ちは、 知と にして非常に 染んでおり、それらに して正しい 度で することが出来なくな
りました。人は い 度を言い して正当化しますが、 に人々が公に、そして 的に神に背き
、敬意を わなければ、私たちは 慨すべきなのです。天使たちは 言者アブラハムのもと
を ち、 言者ロトとその家族の住む、ソドムの街へと向かいました。

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1872>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。